この外にダイトンカンアオイ (*H. taitonensis*) が台北北部の大屯火山彙を中心として分布している。これは一昨年採集し，栽培して観察しているが，前者シロフカンアオイとつゞくと思われるもの，さらにホウライアオイとつゞくと考えられるものなどがあってまだ研究中である。大屯火山彙は台湾で唯一の火山地方であり，日本で箱根天城火山彙に発生したと思われるオトメアオイ (*H. savatieri*) と考え合せるとさらに調査が必要かと思われるので今回は将来を期して取除いて報告した。

**Resumé**

In these three years, we are investigating Formosan species of *Asarums*, travelling three times, collecting materials and continue to cultivations. Now, although in mid way of studies, we can enumerate three genera and five species, i.e. *Asarum leptophyllum*, *Geotaenium epigynum*, *Heterotropa macrantha*, *H. hayatana* and *H. albomaculata*. Among them, *Geotaenium* has chromosome numbers 2n=12 (Yuasa et Maekawa 1977). It seems enough to be considered the group as a different genus from *Asarum* and *Heterotropa*. *Heterotropa macrantha* is also distinct in having often rudimentary petal or petals and monocotyledonary character. *Heterotropa taitonensis* is growing in Daiton and its neighbours, the only one volcanic area in Taiwan and shows very diverse morphological characters. It shall be treated in a later investigation.

---

□鈴木貞雄： **日本タケ科植物総目録**. 学習研究社，384頁，19,000円. 1978年. タケ・ササ類は栄養繁殖をするうえ，安心できる分類形質に欠けているため，多くの研究者によっておびただしい種が作られ，分類至難とされており，誰もがもっと整理されて当然と考えていながら敢て手をつける者が居なかった。本書は著者の永年の研究成果をまとめたもので，我国のタケ・ササ類をはじめて分類学的にまとめて扱ったものである。著者はこの類をタケ科としてイネ科から離し，13属95種を認めている。簡単な解説に続いて検索表が和文，英文で示されている。図譜は本書の主体をなすもので264頁にわたり，見開き2頁の片側に和英文による記相と分布図，生態写真，片側に図がのせられている。図は全形及び拡大図で，タケ・ササにふさわしい硬質な筆使いである。これに続いて著者の分類学的見解を示す，異名を含む学名一覧がある。種の大幅な統合を行ったにしては品種がかなり残されているが，園芸関係の利用に対する配慮であろう。高価な本なので広く誰でも利用するというわけには行かないが，今後のタケ・ササ類の研究の土台となるものである。 (金井弘夫)